

有明浜の海浜植物 とアサギマダラ だより 6号

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会発行

イベント

1. 秋の開花を楽しみにして、オーナーによるフジバカマ苗の植え付けがありました

4月3日に木之郷町フジバカマ園にてオーナーさん達によりフジバカマ苗5株を、それぞれの手により植え付けが行われました。まず、有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会 杉村会長からのあいさつで始まります。

次に、運営委員の太田さんより、フジバカマ苗の植え付け方法や注意点をレクチャーします。あまり深く植えてしまうと今後の生育が良くありませんよ。

自分が植えたい所に行き、名前プレートを立札に貼り付けて植え付けを開始します。フジバカマの立派な成長を願い熱心に水やりをして、オーナーさん達は愛着が湧きますね。



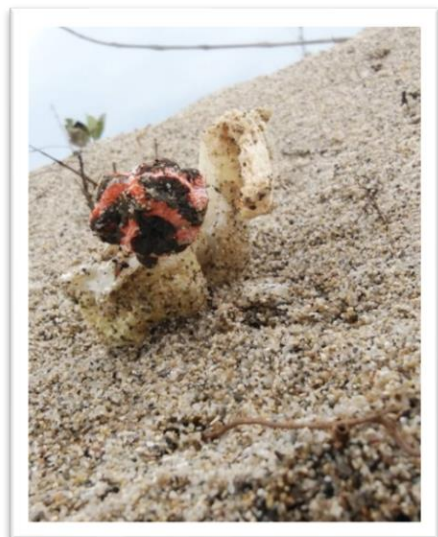
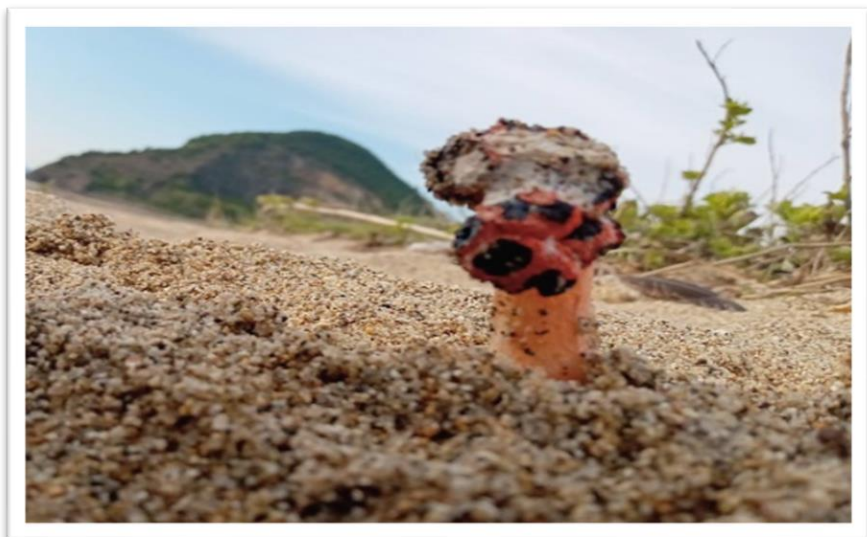
発見

2. たいへん稀少なキノコを見つけました。一度聞いただけでは覚えられない名前です

キ

ノコのコナガエノアカカゴタケと言います。4月30日に「愛媛きのご観察会」所属の寺本辰己さんが見つけた。寺本さんは毎年のように4月上旬から有明浜を訪れていて、寺本さんはキノコに詳しいために発見出来たと言います。

頭部から強烈な臭いを発し、ハエを呼び寄せ仲間を殖やしていきます。橙色の網目を持つカゴ状の類球形の頭部をしていて大きさは5~7センチあります。寿命は短く昼にはしおれていました。有明浜では砂浜と海浜植物が育つ境目に伸びていました。



海浜植物

3. 太田さんに誘われて、有明浜に自生するハマウツボの観察をしてきました

香

川県内では、有明浜だけに自生が確認されているハマウツボ。キク科の植物に寄生することが多く有明浜ではカワラヨモギに寄生していました。ハマウツボの花期は5月~6月中旬です。

現在、確認した場所では、2株しか見つけることができませんでした。



初

4. 各所のアサギマダラの初飛来日と最終飛来6月14日までの頭数をまとめました

初飛来日	伊吹島 4月27日	有明浜 5月7日	フジバカマ園 5月23日
頭数	89	17	8

Voice

5. 愛犬コアといつも散歩をしていると言う、オーナーさんに聞いてみた

Q1) 一株オーナーは知っていましたか？

はい。世話人の太田さんから無料だ無料だとよく聞いていました。

Q2) 一株オーナーは今年からですか？

去年から参加させてもらっています。去年はオーナーの親睦会に参加させてもらいました。太田さんの奥様がおにぎりを作ってくれて、オーナー制にして多くの人が集うようになったと思います。

Q3) 世話人の太田さんはどんな人ですか？

太田さんは優しくて面倒見がよく世話をよくする人の印象です。そのことは去年のオーナーさん達が良く知っています。フジバカマ園に蝶を呼ぶために見る顔はいつも生き生きとしています。

Q4) 4月3日にフジバカマ苗を植え付けした時の感想は？

私は思ったより皆が楽しそうに植え付けしていたように思います。フジバカマが大きく育ち、アサギマダラが多く来るように願っています。

Q5) 蝶のアサギマダラは知っていましたか？

はい。フジバカマ園の蝶にはほんま感動した。多いときは100頭いたような、すごかった。来年もぜひ、植えたいと船場さんは言います。

木之郷フジバカマ園まで歩いて来てくれた船場さん、とてもお元気ですね。飼っている愛犬の話を教えてくれました。雑種ですが可愛くて自慢の愛犬で名前はコア。1時間ぐらいかけて、コアの散歩で木之郷フジバカマ園に来るそうです。

お名前：船場恵美子さん

お歳：81歳

5月21日 木之郷フジバカマ園にて



観察

6. 有明浜の清掃と海浜植物観察会を行いました

5月14日は「有明浜の海浜植物と親子でアサギマダラのマーキング会」を予定していましたが曇り空で気温が低く急遽、清掃と海浜植物を観察することになりました。広報かんおんじ5月号の掲載を見て、8名の市民の方が参加してくれました。



参加者へのあいさつ



スナビキソウを囲んで



集合写真

害虫

7. 病害虫が発生していたので農薬散布しました

1

回目の農薬散布を小西事務局長（当時）と高橋さんで5月22日に実施しました。農薬はモンカット フロアブル40を使用。葉がちじんでいることはアブラムシの吸汁被害かも。フジバカマの葉っぱの色が薄くなっているため、葉の裏面にハダニがついていたと思われます。白絹病が発生している可能性があったため消毒が必要になりました。2回目は6月16日に、3回目は7月18日に実施しました。



白絹病になり根元が枯れている



ハダニの被害

人にはそれぞれ個性がある。そして人は皆、存在自体がユニークなのでは…

我が飛翔会のメンバーの高島さんにインタビューしてみた。
趣味は？

「カラオケと写真」との事。

カラオケでの歌はかなりなものだという噂を耳にしている。
本当はそこを聞きたかったが、詳しくはヒ、ミ、ツだって…
写真は、観音寺市内の風景や行事を中心に
記録の意味も含めて写していると…

1944年生まれ。

自身が創業者である会社は二代目に任せ、今は自由を楽しんでいるようだ…

好きなオヤツは？

「お饅頭とかお餅とか…」甘い物が好み…

その人その人の個性に接するのは、実に楽しい…

次は誰にインタビューしようかな？

(かなざき)



9. 伊吹島の児童へフジバカマ植栽の交流授業を行ってきました

6月27日に伊吹島の小学校児童たちが、アサギマダラ飛翔会との交流授業を行いました。児童の内訳は1年生が1名、4年生が2名、5年生が1名、6年生が1名です。



篠原先生自作の顔出し看板があったので記念撮影しました。上が太田さん、下が高橋さん。

高橋さんからポット苗の取り出し方と植え付け方法を教わります。



■児童たちに優しい言葉で語りかけます。



■丁寧なプレゼンテーション。



■校長先生からのお話。



Voice

10. 夕方の散歩中に木之郷フジバカマ園で、偶然出会ったオーナーさんに聞いてみた

お名前：柴田英明さん

お歳：65歳

6月30日 木之郷フジバカマ園にて

昨年からオーナーになっている柴田さん。毎日、夕方の散歩にはフジバカマ園付近を歩いています。奥様も一緒に、愛犬のふくまるを連れていました。愛犬はふくちゃんと呼んでいるそうです。また、4月3日にフジバカマ苗を植え付けた時の感想を聞くと、今年も昨年のようにたくさんのアサギマダラが来てくれるといいなあということでした。



Q1) 一株オーナーは知っていましたか？

はい。

Q2) 4月3日にフジバカマ苗を植え付けした時の感想は？

今年も昨年のようにたくさんのアサギマダラが来てくれるといいなあと思いました。

Q3) 世話人の太田さんはどんな人？

一株オーナー畑のフジバカマの世話を本当に熱心にして頂いています。ありがたいことです。昨年、一株オーナーの集いをしてくれた時に、その瞬間までずっとひとりで草刈りしていました。これはすごいわ、こんなの誰もできませんわ。太田さんがフジバカマの世話をしている姿を見ていると、「忘己利他」という言葉が浮かびます。素晴らしい生き方だと思います。

「忘己利他」とは「自分のことを忘れ、他の人々のために尽くせ」常に他の人のためにとの心を持っている人。

鬼

11. アサギマダラの産卵を期待して鬼女蘭を植え付けました

7月10日

植え付け場所は木之郷フジバカマ園から、東へ150mほどの山の麓です。

植え付け場所を耕し穴を掘ります。鉢植えの苗は2年目の5株を用意しました。



親子

夏休み親子で海浜植物の観察会を開催しました

なつやすみ
7777 の
親子かんさつかい

かんさつするひ：れいわ4ねん7がつ24にち
 じかん：ごぜん9じから
 ばしょ：ありあげグランドきゆうけいじよ
 もうしこみ：24にちのさんかでOK
 でんわ：090-7629-4183（こにし）

主催：有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会

そのひはあついとおもわれるので、ひよけとのゆめがふんふんもってきてね。
 おたさん、おあまさんにお願ひします。物中成にならないうちに本が読書をしよまよる。

観音寺市内の各小学校、各中学校にチラシを配布して掲示してもらい、夏休みの親子観察会を開催しました。左が小学校、右が中学校。

児童・生徒の皆さんは、夏休みの宿題になるヒントや自由研究の課題は見つかりましたか。

夏休みに見つけよう
自由研究

親子海浜植物教室

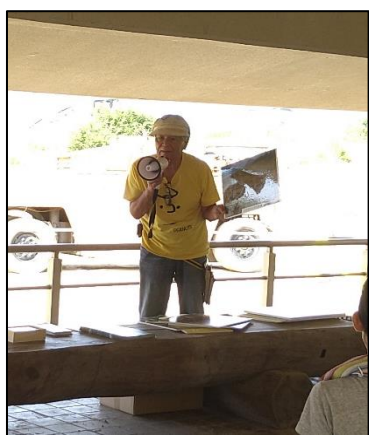
ふしぎ 観察
 なつとく 調査

開催日：令和4年7月24日（日）
 開催時間：午前9時開始
 開催場所：有明グランド休憩所に集合
 申込み：当日参加でOK
 問い合わせ：090-7629-4183（小西）

当日は観音寺が予想されます。日除けと飲み水は各自が準備しておくこと。

主催：有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会

7月24日に5組の家族を含む総計24名で、有明浜の海浜植物を観察しました。レクリエーション保険に入るため皆さんに名前を書いてもらいます。初めに杉村会長のあいさつ、小西さんからの説明がありました。



皆さん、小西さんのパネルを使った海浜植物の説明に聞き入ります。



炎天下、熱中症対策を万全にして有明浜を歩きます。ウンランの群生地を見学し、有明浜の原点スナビキソウを確認しました。



観察した海浜植物（希少なシロバナハマゴウ、ネコノシタ、ハマナデシコ）他にナミキソウ、カワラサイコ、ハマゴウなどがありました。



観音寺地区の中学校生徒弁論大会で発表した原稿を掲載します

アサギマダラをもとめて

観音寺中学校 三年

荻田 悠沙

コウボウムギ、ハマボウフ、ハマウツボ、そしてスナビキソウ。みなさんはこれらの名前を聞いたことがありますか？僕が住んでいる町は、香川県観音寺市です。そこは、瀬戸内海に面していて自然豊かなところです。地元の有明浜は国立指定公園に認定されており、日本でも数少ない海浜植物が自生している砂浜です。冒頭で紹介したのは、有明浜で見ることができる海浜植物の名前です。



中でもスナビキソウは、白くて小さい星形の花をつけます。顔を近づけて匂いを嗅いでみると、ほのかに甘い匂いがします。この匂いに引き寄せられてアサギマダラという淡い水色の蝶がやってきます。この蝶は高温に弱く、低温では動けなくなるため、涼しい場所を求めて台湾・朝鮮半島から日本列島を北上していくのです。海と国境を越えてわたる、世界に一種の蝶です。オスはメスを誘因するためにフェロモンを発します。このフェロモンの元となる物質を含んでいるのがスナビキソウなのです。だから、この花の蜜を吸うためにアサギマダラはやってきます。毎年春になると、僕はこの蝶がやってくる季節だと思いウキウキします。遠くから、海を越えて有明浜までよく来たなあ嬉しくなります。

先日、心待ちにしていたアサギマダラを見ようと有明浜に行くと、工事車両がたくさん並んでいました。何の工事をしているのかなと思い聞いてみると、津波の被害を抑えるために堤防を造る護岸工事をしているのだと知りました。砂浜を掘り返しており、砂浜沿いに端から端まで堤防を造っているところでした。近頃は災害が増え、瀬戸内海でも大きな地震が起ると予想されています。僕たちの生活を守り、安全に暮らせるように堤防を造ってくれているのだと思いました。しかし、砂浜を見ると、そこには数多くの貴重な海浜植物がありました。このまま工事を進めていくと、今ここにある海浜植物たちが掘り起こされて無くなってしまわないかと心配になりました。僕たちにとってはいいことだけれど、植物たちにとっては嫌なことになるのではないかと複雑な気持ちになりました。また、堤防が造られると、陸からは海が見渡せなくなり、今見える景色は変わってしまうでしょう。それを思うと残念で仕方ありません。



有明浜でも、海浜植物の数はどんどん減ってきています。植物は風が強く乾燥した過酷な環境にいますので、僕たちの目には見えない気候の変化を直接受けています。さらに、プラスチックなどのゴミがたくさん打ち上げられて、その影響も受けているのだと思います。そんな有明浜を守るために活動している人たちがいます。「有明浜の海浜植物とアサギマダラの飛翔会」はその一つです。以前、その会の人たちと一緒にゴミ拾いをしたことがあります。発砲スチロールが小さくなったものや、ビニールテープなどのプラスチックが落ちていました。他にもかき養殖用のパイプが打ち上げられていました。数年前にゴミ拾いをしたときにもパイプをたくさん拾ったのでやはり流れてきているのだなと思い、がっかりしました。それでも、ゴミの量が以前に比べると少なくなっていると感じました。プラスチック商品をなるべく使わないようにしようなど、みんな一人一人の意識が少しずつ変わってきているのかなと思いました。また、「有明浜の海浜植物とアサギマダラの飛翔会」のメンバーのようにコツコツと活動をされている皆さんのおかげだとも思います。このような人達の活動を広くみんなにも知って欲しいと思いました。

ゴミ拾いの最中、会のメンバーのある人から驚くことを聞きました。「この有明浜には、ウミガメが産卵に来るんだよ」僕はそれを聞いてとても嬉しくなりました。有明浜はウミガメが産卵できるような綺麗な砂浜だったんだと改めて思いました。僕たちが寝ているときにそっと上陸して産卵しているウミガメを想像すると、皆さんもワクワクしませんか？

有明浜は僕たちに神秘的な世界を見せてくれます。僕はその場所をこれからもずっと守っていきたいとおもいます。まずは有明浜で暮らす生き物のことを知って欲しいです。それらを知ることは、きっと、自分から行動を起こすきっかけになるはずです。そして、きれいな砂浜にスナビキソウが咲く頃、みなさんもアサギマダラを見に行きませんか？

お知らせ

ホームページを開設しました ariakehama.org



有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会では
新規会員を募集しています。

年会費：1200円
申込先：観音寺市観音寺町甲2968-13
事務局長：宇賀廣和
電話：090-2786-5173

宇賀さんに電話

